



木川隆志

徳島県よろず支援拠点コーディネーター

中小、零細企業者のあらゆる経営上の悩みに対応するため、(公財)とくしま産業振興機構内に「徳島県よろず支援拠点」を開設しています。皆様のお役に立ちそうな支援内容を「徳島県よろず支援拠点」のコーディネーターが交代で紹介していきます。今月は木川コーディネーターが紹介します。

「伝わる?」「伝わる!」フォントの話

フォント選びの基礎知識

読みやすさの指標は3つ

文字や文章の「読みやすさ」は、可読性、視認性、判読性という3つの要素から成ります。「可読性」とは文章が読みやすいか、「視認性」とはパッと見た瞬間の認識しやすさ、「判読性」とは誤読がないか、という指標です。

プレゼン用のパワーポイント・スライドなどでは視認性と判読性を、紙媒体で配布することの多いワード文書作成などでは可読性を重視したフォントの使い方が伝わるデザインのキモとなります。

書体の基礎知識

日本語の文字は、「明朝体」と「ゴシック体」、「筆書体」、「デザイン書体」に大別することができます。欧文で「明朝体」に対応する書体は「ローマン体」、「ゴシック体」に対応する書体は「サンセリフ体」と呼ばれます。

筆書体は、筆で書いた文字を再現したような書体で、行書体や隷書体などが含まれます。デザイン書体は手書き風の書体やポップ体が含まれます。プレゼンテーションやビジネスでは、明朝体とゴシック体、欧文書体はローマン体とサンセリフ体だけを使うのがふつうです。

●明朝体 游明朝体	●ローマン体 Times Roman
●ゴシック体 游ゴシック	●サンセリフ体 Helvetica Bold

変わった文字で資料を作るとたしかに目を引くことがあります。変わった書体で書かれた文章は読み間違いも多く、内容にも集中しづらくなります。

多くの人に正確に情報を伝えるときは、文字にクセや表情がないほうが情報の受け手は内容に集中することができます。もいえます。

読む文章は「明朝」と「ローマン」

文章量の多い書類の場合には、「明朝体」を使うようにしましょう。明朝体はそれぞれの線がほっそりとしているため、読み手に負担を与えにくいといわれています。新聞や小説、論文のように長い文章で「明朝体」が使われるのはそのためです。ただし太めの明朝体は、読んでいて目が疲れてしまうので避けましょう。

「見る」要素の文字には、ゴシック体とサンセリフ体

ポスターやスライドの文章は、懇切丁寧に内容を説明するものではなく、要点だけを端的に説明する補助的な役割をするものです。

したがって、これらの資料の文章は「読む」というよりは「見る」という意味合いの強い要素になります。

このような文章では、可読性よりも視認性が求められます。そのため、プレゼンスライドやポスターなどは、全体を通じて視認性の高いゴシック体やサンセリフ体を用いるのが良いでしょう。

フォントを選ぶ3つの基準

パソコンにはたくさんのフォントが搭載されています。その中から「視認性」「可読性」「判読性」を高めることを意識した場合のフォント選びのコツを紹介します。

①きれいなフォントを選ぶ

明朝体の漢字と仮名は美しさの区別が付きにくいかもしれませんが、ゴシック体では割と見た目の違いが出ます。

MSゴシックやHGゴシックは美しいフォントとは言えません。その理由のひとつが形の雑さです。特にひらがなは文字の形に柔らかさがなく直線的な要素でできています。太さも均一に見えません。

プロ仕様以外の一般的なゴシックフォントだと游ゴシックやメイリオの方が一文字ごとにきれいな形をしているのでおすすめです。



× MSゴシック	たことかます
○ 游ゴシック	たことかます
○ メイリオ	たことかます
× MSゴシック	うみのなか
○ 游ゴシック	うみのなか
○ メイリオ	うみのなか

アンバランス 直線的過ぎ アンバランス 直線的過ぎ

太い 細い 太い 細い

× 判読しにくい(Century Gothic)	japon Road	japon Road
○ 判読しやすい(Helvetica)	japon Road	japon Road
× 判読しにくい(MSゴシック)	¥ 1,836	¥ 1,836
	¥ 1,836	¥ 1,836
	¥ 1,836	¥ 1,836
	¥ 1,836	¥ 1,836

○ 判読しやすい(メイリオ)

MSゴシック(太字に非対応)	游ゴシック(太字に対応)
太字 → 太字	太字 → 太字
MS明朝(太字に非対応)	メイリオ(太字に対応)
太字 → 太字	太字 → 太字
	游明朝(太字に対応)
	太字 → 太字

× MSゴシック	○ メイリオ
HGゴシック	游ゴシック
MS明朝	游明朝体
ポップ体	
手書き風文字	

参考 WEB サイト：伝わるデザイン <https://tsutawarudesign.com/>

②太字や斜体に対応したフォントを選ぶ

文字を目立たせるために太字を用いることはとても有効な手段です。ワードやパワーポイントを使って書類作成をする場合はちゃんと「太字になってくれる」フォントを使う必要があります。(MS 明朝や MS ゴシックは対応していない)

③読み間違いの少ないフォントを選ぶ

フォントの種類によって判読性は大きく変わります。サンセリフ書体でアルファベットを用いる場合、フォントによっては「a」と「o」が判別しにくいことがわかります。

数字も同様に開いている部分が狭いと3、6、8が区別しづらくなります。日本語の場合は濁点や半濁点を読みやすく作られているフォントがおすすめです。

フォントがプレゼンや書類のクオリティを決める

どのフォントを使用するかによってスライドやポスター、書類の「読みやすさ」「見やすさ」だけでなく、「印象」が大きく変わります。

できる限りMS ゴシックやHG ゴシック、MS 明朝を使わず、モダンなフォントを使うようにしましょう。それだけで制作物のクオリティがだいぶ高くなります。

たかがフォント、されどフォント

見やすいフォントを使ったデザインは情報の受信者の負担を減らし、コミュニケーションを円滑に行います。

徳島県よろず支援拠点では広告デザインに関する相談やセミナーを企画しています。お気軽にご連絡ください。

よろず支援拠点の連絡先は以下のとおりです。

徳島県よろず支援拠点

徳島県徳島市南末広町5番8-8
徳島経済産業会館2階

よろずにゴー

電話 **088 - 676 - 4625**

HP <https://yorozu-tokushima.jp/>



【平日】9:00~17:45

【休日相談会】●毎週日曜日

10:00~17:00

徳島駅前ポッポ街

●第1・第3土曜日

10:15~17:00

アミコビル9F



(最新情報を確認して下さい)

新型コロナウイルスに関する経営相談窓口を設置しております。相談希望の方は上記、徳島県よろず支援拠点にご連絡ください。